

J O M A 通信

Japan Overseas Missions Association

海外宣教連絡協力会公報

No. 41 発行者 / 池田 博
海外宣教連絡協力会事務局
東京都千代田区神田駿河台2-1
OCCビルーPBA事務局内

現代に生きる宣教者・伝道者・キリスト者

福田 崇 (JOMA役員)

いつの時代でも求められる共通の資質が宣教者・伝道者にあることは、当然のことであろう。ここでは、現代という時代・今の若者と特質を考慮した上での宣教者・伝道者の資質を考えてみたい。主として、海外における奉仕を前提に考えているが、日本国内でも自分の生まれ育った地域と異なる地に派遣されることが多いことを考えると、伝道者全般に当てはまることと思われる。また、宣教者・伝道者を中心に考えるが、すべてのキリスト者に当てはまることであるので、クリスチャン・ホームでの教育に関することでもあろう。

宣教者の発掘・訓練において、教会・宣教団体・神学院がそれぞれに果たすべき役割がある。この場合の教会とは、地域教会のことで、将来の宣教師が属し、共同体の一員として、ともに礼拝を守る教会である。宣教団体とは、教派の海外宣教局・海外宣教委員会をも含む概念である。教派派遣の場合でも地域教会が与える訓練とは異なる、海外宣教局としての、独自の訓練・オリエンテーションがなされる。宣教団体であれば、なおさらその団体の歴史・運営原則・経済原則などがオリエンテーションで教えられる。この3者が、バランス良く、それぞれに課せられた責任を果たすことが大切である。

地域教会における宣教者の発掘・訓練について見てみたい。この場合、教会を構成するクリスチャンホームが極めて重要な役割を果たす。子どもを抱えているクリスチャンの親に対する支援・教育・訓練が配慮される必要がある。必要と考えられるポイントを、小学校・中学校・高校の時代、大学あるいは専門学校の時代に分けて考え、箇条書き的に挙げる。

I 小・中・高の時代

- A 何でも好き嫌いしないで食べる。
- B 質素に育つ。むやみと買ひ与えない。
- C 野外・屋外の活動に慣れる。

- D 友だちと遊んで育つ。
- E 自分の考えを表現する。
- F 友だちと協力して何かを作る。
- G 基礎学力を身に付ける。
- H 英語を学ぶ。
- I 異文化体験をする。旅行・留学をする。日本にいる外国の人と友だちになる。
- J 聖書通読をする。
- K 聖句暗記をする。
- L 教会生活に励む。

II 大学生・専門学校の時代

- A 専門分野を深める。
- B 英語力を磨く。
- C 異文化体験をする。旅行・留学をする。
- D 何かを成し遂げる。
- E チーム・ワークを身に付ける。
- F みことばから自分で糧を得る。
- G 個人伝道に熟達する。

III また、宣教師訓練校があれば、次のような科目が教えられなければならないであろう。

- A 異文化宣教への霊的武装。
- B 異文化コミュニケーション。
- C 文化人類学・社会学。
- D 音声学。
- E 言語分析(文法分析・音韻分析)。
- F 外国語の学び方。
- G 英語。
- H 宣教の歴史。
- I 宣教学文献の講読。

この他に、生活レベルの低い地域での生活訓練・宣教地体験学習旅行のような形で、現地を体験することも大切である。

宣教とヴィジョン

JOMA加盟団体の宣教師派遣状況と将来のヴィジョン

アンテオグ宣教会

—— 宣教師派遣状況とヴィジョン ——

- インドネシア：
 - ・吉永宣教師夫妻帰国！ 4年間ジャカルタのJCF（日本語教会）の牧会。学生ビザが切れ、'93 4月に帰国。将来再び派遣を求め準備に入る予定。
 - ・太田宣教師夫妻：バツ神学校にて、カリマンタン（ボルネオ島）に入る準備。ビザの為に乞祈り。
 - ・奥秋宣教師夫妻：宣教師訓練センターで訓練を受け、テント・メーカー（自給）宣教師として、JCF議長をしながら、日本人、インドネシア伝道。
【求む！】ジャカルタJCFの牧会者。牧会経験があり、海外の日本人に重荷のある方。
- アメリカ：
 - ・シアトル：熊井宣教師夫妻の日本人伝道。開拓か4年。今、教会形成中。
 - ・ハワイ：三橋宣教師夫妻による日本人伝道・教会10年。教会形成中。
 - ・ロスアンゼルス郊外：杉山宣教師夫妻による日系人伝道・牧会（フリー・メソジスト教会）。
- パキスタン：
 - 田中宣教師の医療伝道。短期の土成姉（看護婦）が協力中（'93・5月まで）。
 - 【求む！】田中宣教師と共にイスラム国での医療伝道者（看護婦、医療検査技師）。
- ネパール：
 - 森宣教師夫妻帰国。10年間の地域・農業開発プロジェクトを通しての伝道・教会形成を終え、'92・9月帰国。デビュテーション中。
 - 【求む！】ネパール合同ミッションを通しての医療奉仕者（医師、看護婦、検査技師等）。農業指導。
- 韓国：
 - 長沢久美子宣教師による20年間のロー者伝道・牧会（ワールド・オポチュニティ）と共に。
- アルゼンチン：
 - 杉山宣教師の働きに次いで、在原宣教師夫妻が19

88年以来、パラグアイ、アルゼンチンのミシオネス州（パラグアイと隣接）の日本人移住地を開拓。10カ所の集会（伝道所）に広がり、巡回。現在帰国デビュテーション中。'93・9月まで。

【求む！】パラグアイとアルゼンチンの10カ所の集会の内、教会堂の備えられた3つの伝道所（教会）の牧会者。また、ワーカー（日本人学校、病院で働きながら奉仕）。

日本ウイクリフ聖書翻訳協会

1. 現在の宣教師派遣状況（ABC順）：

- 土井彰・圭子（日本福音自由教会東大宮福音自由教会）インドネシア・レティ語ーインドネシア政府からの査証待ち。
- 福田崇・愛子（日本福音キリスト教会連合宣教教会）夏期言語学講座責任者・アジア地区訓練講座責任者。
- 福原さゆり（日本同盟基督教団土浦めぐみ教会）パプア・ニューギニア。短期奉仕者・子弟教育担当。
- 橋本一雄・千代子（日本福音キリスト教会連合前橋キリスト教会）
- 星野仁子（日本伝道福音教団六日町キリスト教会）シンガポールでの訓練を終え、中央アジア出勤予定。ロシアで研修中。
- 石川学・英子（日本伝道福音教団六日町キリスト教会）日本ウイクリフ総主事。
- 伊藤惇子（日本保守バプテスト同盟牛久みどり野チャペル）短期奉仕者。東ボントク聖書翻訳プロジェクトを助ける。
- 吉川啓子（日本バプテスト連合熊本愛泉教会）パプア・ニューギニア。クワレ語プロジェクト。
- 久米のぞみ（日本長老教会東久留米泉教会）メンバー候補生。'92・2月よりニューギニアでオリエンテーション。現在教会訪問中。
- 松村隆・美智子（日本福音自由福音自由教会）インドネシア。イラルトウ語プロジェクト。アメ

リカのアリゾナ州で働きを続けている。

- 永井敏夫・悦子（単立ペンテコステ教会フェロシップ町田純福音教会）メンバー候補生。子弟教育。'93・2月よりニューギニアでオリエンテーション。現在教会訪問中。
- 中村孝・矢枝子（日本同盟基督教団碧南聖書教会）パプア・ニューギニア。マワイ語プロジェクト。
- 野沢道世（日本福音自由教会草加福音自由教会）パプア・ニューギニア。メンデ語プロジェクト。'93・2月に帰国・研修中。
- 小栗宏子（日本長老教会杉並教会）インドネシア。イシラワ語プロジェクト。査証待ち。
- 大鰐秀樹・正枝（日本福音キリスト教会連合弘前福音キリスト教会）パプア・ニューギニア。メラメラ語プロジェクト。
- 田口勇新・孝子（日本ルーテル同胞教団秋田キリスト教会）インドネシア。アルネ語プロジェクト。インドネシアの聖書翻訳団体に出身いて、ジャカルタで奉仕中。
- 高田正博・優子（日本長老教会小倉台キリスト教会）インドネシア。コラ語プロジェクト。マニラで査証待ち。オリエンテーション・コースのスタッフとして奉仕中。
- 鳥羽季義・英里（日本福音キリスト教会連合浜田山キリスト教会）ネパール。カリン語プロジェクト。今週新約出版予定。
- 虎川清子（日本フリー・メソジスト教壇南仙台キリスト教会）フィリピン。東ボントク語プロジェクト。新約の80%完成。
- 山口佳子（日本フリー・メソジスト教団所沢グレース教会）短期奉仕者。ケニアでイラストレーターとして奉仕。'93・10月より2年。
- 山見りつ子（日本バプテスト教会連合国分寺バプテスト教会）フィリピン。カラガン語プロジェクト。イスラム部族。

2. 将来の計画・重荷・ヴィジョン

A. 次の1000言語。

ウイクリフが今までに関わった聖書翻訳プロジェクトは、1321あります。333の新約聖書が完成し、現在863のプロジェクトが継続中です。聖書の翻訳がなされている言語は、部分訳も含めて、2158です。後2000ほどの聖書翻訳を必要と

する言語のうち、1000言語は、必要が確定しており、今すぐにも取りかかりたい言語です。しかし、この1000言語は、今まで以上に困難な面を抱えています。イスラム圏の言語、ヒンズー圏の言語などが多く入っています。日本ウイクリフとしても中央アジアのイスラム圏の言語に積極的に取り組んでゆきたいと願っています。

B. アジア諸国から、ウイクリフへ志願する人が増えています。また、今までの宣教地で、聖書翻訳を中心に据えた宣教団体が生まれています。こうした主のお働きに参加してゆきたいと願っています。

C. 翻訳宣教師ばかりでなく、識字教育の働き人も不足しています。子弟教育の宣教師、パイロット、飛行機整備士、広報担当者など、後方支援の働き人が加えられるよう祈り励んでゆきたいと願っています。

D. 日本の諸教会が、短期奉仕者・メンバーとなる聖書翻訳者・後方支援の働き人を送り出してゆけるよう、ウイクリフとしてできる訓練・オリエンテーション・連絡調整などを更に充実させてゆきたいと願っています。

国際福音宣教会日本委員会

I. 現在

OMF日本委員会は、現在6人の宣教師を派遣しており、更に今年中に5人の新宣教師が宣教地にて奉仕する予定です。

● 牧野直之・伊豆宣教師（シンガポール）

昨年4月より1年間、国内奉仕のため、日本に戻られ、北海道から中国・四国方面まで巡回報告され、この4月14日再びシンガポールに出発し、国際本部にてオリエンテーション・コース（OC）の新宣教師指導に当たります。また、シンガポールにおいて、JCF、タイ人教会奉仕にも引き続き当たられます。帰国中に、左目の奥に腫瘍が発見され、手術するかどうかは様子を見ることになっています。

● 木下理恵子宣教師（台湾）

昨年（92）6月に台北の萬華にある活水泉の働きに派遣され、女性宣教師たちとチームで伝道を始めました。この萬華は台北一有名な廟のある偶像礼拝と赤線地帯であり、麻薬犯罪、アル中、浮浪者が多く、福音の光は暗闇の中で輝いており、神はその困

難な伝道を祝福し、人々は救われ、いやされています。

● 有沢達朗・たまみ宣教師 (タイ)

昨年 (92) 中央タイに派遣され、ロップリにて語学研修。現在はコークサムローンにて学びを継続中。1994年6月頃、北タイの山岳部族伝道へ遣わされる予定。

● 佐味湖幸宣教師 (フィリピン)

昨年 (92) フィリピンに派遣され、現在バタンガス市にてタガログ語を勉強中。バタンガス市聖書教会にて礼拝・賛美奉仕中。音楽チーム・メンバーとしても奉仕しており、将来貧民街伝道へのビジョンを持っています。

II 将来・ヴィジョン

1年以内に日本委員会に専任の日本人総主事の任命が予定。宣教師については、この先5年間に更に10-15名を派遣したいと願っています。また、宣教師の入れない国へのクリスチャンの専門職技術者 (医師、日本語教師、農業技術指導者) 実業家、一般職などの人を送ることを計画しています。

発行物として、英語版では良く読まれている「キリストにある人—ハドソン・テラー」を出版予定。

ビジョンとしては、OMFだけではなく各宣教団体から多くの日本人宣教師をアジアを始め全世界へ送り出すことができるように祈っています。それによって世界が祝福され、また、宣教師を送り出す日本の教会やクリスチャンが祝福され、強められると確信しており、国内伝道、教会形成に励みつつ、世界的ビジョンをもつよう高められたら幸いだと思えます。

キリスト兄弟団海外宣教部

私たちの海外宣教部の働きは、ユダヤ人伝道を目指す者によって始められました。現在ここで述べるような大きな働きはしておりませんが、近況について述べさせていただきます。

ユダヤ人伝道は「ジャパン・イスラエル・ミッション」の川津師や、「イスラエルを愛する会」の菩提寺姉などによって進められております。

● 川津師は、昨年 (92) に引き続き3月からイスラエルで言語の学びと、ユダヤ人信仰者たちとの交わりを持っています。

● 菩提寺姉は、現在アメリカのフラー神学校でユダヤ人伝道の学びと情報収集に当たっております。

● 毎年、台湾の原住民 (旧山人) 教会に短期宣教という形で奉仕者を送ってまいりました。今年 (93) は、9月に岡山教会の伊東師が遣わされる予定です。

● アトランタでは、佐藤師夫妻が在米日本人伝道に当たっております。佐藤師は海外宣教師補として、一期2年の半ばにあり、ウエストミンスター日本人教会の武田師の下で奉仕をしております。コロンビア集会やチャールストン集会など、教会外の奉仕や大学生伝道、更に自宅を開放した集会も試みています。

将来のために、現在祈っておりますことは、

- ① これらの与えられた宣教地に、本格的な伝道がなされること。
 - ② 教団内の宣教に重荷を持つ人材の新たなる発掘。
 - ③ 宣教師訓練のルートの確立
- などです。歴史の浅い私たちの海外宣教の働きのために何卒お祈りください。

1993年度・總會報告

I 特別講演「アジア及び世界の教会と日本の教会」

舟喜信師

II 開会デボーション

マルコ15:34 福田崇師

III 報告—承認

A 各団体報告

B JOMA活動報告

C 会計報告

IV 議事

A 加盟申請団体承認の件—

同盟福音基督教会海外宣教

協力会とメノナイト・ブラ

ザレン海外宣教委員会—承認

B 1993年度事業計画案

1 宣教師志願者ハンドブ

ックの増刷

2 JOMA宣教地図の改

訂発行

3 JEAとの協力関係

4 青年対象の宣教大会開催について

5 宣教師子女の交わり

C JOMA事務局の設置移転について

D 1993年度予算案

E 会長・役員改選

JOMA役員 その他について

1993年4月12日に開催されたJOMA総会の後、各宣教団体・教団の事情があつて、9月8日になつて、本年度の役員分担が決定し、役員会が始動し始めた。既に、役員会議事録を通してお知らせしてあることですが、

- ・会長：池田 博師（リーゼンゼラ世界宣教会）
 - ・副会長：大久保八城師（日本福音自由教会海外宣教委員会）
 - ・書記：福田 崇師（日本ウイクリフ聖書翻訳協会）
 - ・会計：小平牧生師（キリスト兄弟団海外宣教部）
- となっております。お祈りにお覚えください。

事務局の働きのために、前会長安海靖郎師とPBAとの話し合いの結果、PBA総務部長・中川氏の了承・監督の下に、PBA事務局の人材（主として、中村姉）が、事務処理に当たってくださることになっています。JOMA側からは、PBAに隣接してオフィスを持つIGM国外宣教局・平位全一師が、事務局長として、PBAにおける事務処理をスーパーバイズする体制を取っております。変則的な体制ですので、事務処理など、加盟諸団体にご不便を掛けることがあると存じますが、お忍びくださり、ご協力くださるようお願いいたします（Z）。

世界宣教東海セミナー：報告

事務局・平位全一

1993年4月2日（金）～3日（土）の2日間にわたつて、活けるキリスト名古屋一麦教会を会場として、「世界宣教東海セミナー実行委員会」と「JOMA」共催の

世界宣教東海セミナーが開催された。

【講演テーマ】：世界的使命の中におかれている教会と弟子訓練

【主講師】：世界福音同盟総裁セオドー・ウィリアムス博士

【分科会とその講師】：

- I-1 日本からの宣教師の役割と課題
 - ・平位全一師
 - ・D・ホッテンバッハ師
- 2 海外宣教のわざにおける婦人信徒の果たすべき役割
 - ・安海通子師

3 若い教会がすぐ携われる海外宣教（奉仕）ABC

・渡辺賢治師

4 今日の世界情勢と海外宣教

・黒田 禎一郎師

II-1 これからの海外宣教奉仕の多様な可能性について

・森 敏 師

2 在日外国人への宣教

・神野 信治師

3 日本の教会のアジアへの責任

・奥山 実 師

4 中学生・高校生のための海外宣教

・Th. ウィリアムス師

よき世界宣教セミナーが持てるように労して下さった世界宣教セミナー委員長・竿代信和師、東海福音フェロシップ委

員長・毛戸健二師、並びに、JOMA前会長・安海靖郎師に、感謝申し上げます。また、分科会を担当して下さった諸師、並びに、そのために犠牲を払って下さいましたJOMA加盟諸団体に御礼申し上げます。

今年度のJOMAの活動としては、役員会は、

宣教師派遣団体実務者懇談会

を企画しています。

- ・日時：1994年4月11日（月）～12日（火）総会時に合わせて。
- ・場所：市ヶ谷ルーテル・センター（宿泊42名まで）
- ・集会：総会の後、1日夜と12日午前の2セッション。
- ・トピック：（後報）

【会費の納入をよろしくお願いします】

1992年度決算報告・1993年度予算

項目	1992年度予算	1992年度決算	1993年度予算
収入の部：			
会費	720,000	816,000①	816,000②
献金	150,000	80,190	150,000
雑収入	275,000	353,356	350,000
繰越金	40,000	212,047	250,000
計	1,185,000	1,461,593	1,566,000

- ① 92年度会費—15団体と前年度未納分2件
- ② 93年度会費—17団体分(4月現在)
- ③ JOMAニュース作成ハンドブック買取
- ④ 内10万円は、前年度の未納分
- ⑤ 稲垣師への謝礼
- ⑥ 会長のセミナー準備会議出席旅費
- ⑦ ハンドブック増刷と宣教地図制作費

支出の部：			
セミナー費	50,000	50,000	50,000
文書費	300,000	282,500③	450,000⑦
役員会	70,000	54,701	70,000
事務所	360,000	370,000④	600,000
事務費	250,000	198,214	250,000
総会費	55,000	71,300	80,000
総主事準備	100,000	100,000⑤	--
予備費	0	24,440⑥	16,000
青年宣教大	0	0	50,000
繰越金	0	310,438	0
計	1,185,000	1,461,593	1,566,000

会費の他に、尊い献金を折々お送りくださった団体又、教会に、主において、心より、感謝致します。尚、JOMAの活動のために祈りと共に、ご支援ください。

会計の実務に当たってくださっているPBA・中村姉のご労に、感謝いたします。

【編集後記】

★ 思いがけない出来事のため、主な原稿に差替えの必要が生じたり、役員会の役割分担が、なかなか決定を見なかったりで、発行が遅れました。悪しからずご了承くださいませようお願いします。

★ 役員会では既に承認されていますが、正式加盟は総会の賛同を経てということになります。

すので、記事には致しませんでした。が、「日本イエス・キリスト教団(委員長・横田武幸師)」よりのJOMA加盟申請が届けられています。

正式に決定を見ますと、加盟団体数は、【18】になります。

★ 会費の納入、また、常時のご連絡は、PBA・中村姉へ。緊急の場合は：

平位全一(事務局長)
インマヌエル東大和
キリスト教会
207 東大和市南街5丁目 35-1
TEL. 0425-64-1498
FAX. 0425-64-1499
へどうぞ。

★ 主の豊かな祝福を各宣教団体のうえにお祈り申し上げます。